

政策目標Ⅰ 「学ぶ文化の醸成」

〈都市像〉

「人が集い育つまちづくりへの挑戦」

施策1

生きる力を育む教育の充実

- 1 確かな学力の向上
- 2 健やかな体の育成
- 3 豊かな心の育成
- 4 国際教育の推進
- 5 生徒指導の推進
- 6 特別支援教育の充実

施策2

家庭・地域に信頼

される学校づくり

- 1 開かれた学校づくりの推進
- 2 教職員の資質能力の向上
- 3 連携教育の充実

施策3

安全で豊かな

教育環境の整備

- 1 学校施設・設備の整備
- 2 情報教育推進のための基盤整備
- 3 就学援助の適正な執行
- 4 給食センターの円滑な運用

施策4

生涯学習活動の充実

- 1 人権教育・人権啓発の推進
- 2 成人教育の推進
- 3 青少年教育の推進
- 4 家庭教育支援の充実
- 5 文化芸術活動の推進
- 6 優れた文化芸術の鑑賞機会
の充実
- 7 スポーツ活動の推進

施策5

生涯学習環境の充実

1 生涯学習拠点施設の充実

2 図書館の充実

3 スポーツ活動を支える

環境づくり

政策目標Ⅱ 「子育て支援と就学前教育の充実」

＜都市像＞ 「人が集い育つまちづくりへの挑戦」

施策1

就学前教育の充実

1 学びの基盤づくりの推進

2 多様な保護者ニーズへの対応

政策目標Ⅲ 「安芸高田市の宝を磨く」

＜都市像＞

「地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦」

施策1

歴史・文化の保護 ・継承と活用

1 文化財の保存管理

2 伝統文化の継承

3 文化財の活用

施策2

トップスポーツの振興

1 トップスポーツの活用

2 トップアスリートの育成

.....(5)「つながり、学び、高めあう」安芸高田協育の推進施策

I 学ぶ文化の醸成

1 生きる力を育む教育の充実

【取組の方向】

- 学力、思考力、体力、コミュニケーション能力等の生きる力を育みます。
- 歴史、文化、道徳等を尊重する豊かな心を育みます。
- 特別な支援を必要とする児童・生徒への支援を推進します。

(1) 確かな学力の向上（当初予算：7,091千円）

【施策の内容】

- ①「安芸高田市学力向上戦略」の策定と推進
- ②児童生徒の「主体的な学び」の促進
- ③学習補助員等の活用
- ④ICTの積極的な活用

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成26年度実績)	進捗状況 (平成29年度実績)	平成30年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
基礎学力が定着している児童の割合(小学校)	88.5%	83.0%	90% 【90.0%】	広島県「基礎・基本」定着状況調査における通過率60%以上の児童生徒の割合 (小学校：国語、算数) (中学校：国語、数学、英語)
基礎学力が定着している生徒の割合(中学校)	80.0%	73.2%	85% 【90.0%】	

(2) 健やかな体の育成（当初予算：3,446千円）

【施策の内容】

- ①小学校児童の体力・運動能力の向上
- ②中学校生徒の体力・運動能力の向上
- ③健康教育の充実

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進 捗 状 況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
体力・運動能力調査で 県平均を超える項目数 の割合（小学校）	96.9%	76.0%	90.0% 【90.0%】	調査項目：握力、上体 起こし、長座体前屈、 反復横跳び、20m シャ トルラン、持久走（中 学校のみ）、50m 走、 立幅とび、ボール投げ （中学校は「シャトル ラン」か「持久走」を 学校が選択する。）
体力・運動能力調査で 県平均を超える項目数 の割合（中学校）	55.6%	66.7%	85.0% 【85.0%】	

(3) 豊かな心の育成（当初予算：8,241 千円）

【施策の内容】

- ① 道徳教育の充実
- ② 4 つの行動目標の定着
- ③ 人権教育の充実
- ④ 郷土理解学習副読本の活用
- ⑤ キャリア教育の充実
- ⑥ 体験活動の推進
- ⑦ 読書活動の推進
- ⑧ 社会教育施設等の活用

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進 捗 状 況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
将来に夢や目標を持 っている小中学生の 割合	86.6%	83.2%	93.0% 【95.0%】	広島県「基礎・基本」 定着状況調査児童 質問紙の結果による
安芸高田市に将来住 み続けたい・戻って きたいと思う小中学 生の割合	52.0% (25 年度実績)	40.5%	55.0% 【65.0%】	政策企画課調査の 結果による（現状 値） 進捗は学校教育課 調査による
1 か月に 1 冊以上本 を読む小中学生の割 合	91.1%	89.5%	98.0% 【100.0%】	広島県「基礎・基本」 定着状況調査児童 生徒質問紙の結果 による

(4) 国際教育の推進（当初予算：22,078 千円）

【施策の内容】

- ①英語教育の充実
- ②国際理解教育の推進
- ③多文化共生社会の推進

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
「外国語活動が楽しみ」「もっと英語を勉強したい」と思う小学生の割合	82.5% (25 年度実績)	85.2%	90.0% 【90.0%】	5・6 年生の平均
英検 3 級以上を取得している中学生の割合	27.3%	39.8%	30.0% 【35.0%】	文部科学省「英語教育実施状況調査」の結果による

(5) 生徒指導の推進（当初予算：6,713 千円）

【施策の内容】

- ①学校の生徒指導体制の充実
- ②教育相談体制の充実
- ③いじめ防止等の対策の推進
- ④適応指導教室の運営

・ 適応指導教室（あすなろ学級）を運営し、不登校児童生徒の学校復帰を支援します。

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
児童 1,000 人あたりの暴力行為発生件数（小学校）	4.2 件	12.9 件	3 件以下 【3 件以下】	「広島県における生徒指導上の諸問題の現状について」の結果による
生徒 1,000 人あたりの暴力行為発生件数（中学校）	4.4 件	23.6 件	5 件以下 【5 件以下】	
不登校児童の割合（小学校）	0.8%	0.15%	0.4%以下 【0.4%以下】	
不登校生徒の割合（中学校）	2.2%	2.50%	2.0%以下 【2.0%以下】	

(6) 特別支援教育の充実（当初予算：32,324千円）

【施策の内容】

①就学指導委員会（教育支援委員会）の運営

②学校体制の充実

③^{*1} インクルーシブ教育システム構築の推進

④^{*2} 「通級による指導」の実施

- ・ 比較的軽度の障害がある児童生徒への支援を図るため、通級による指導を実施し、多様な「学びの場」を提供します。

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進 捗 状 況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
特別な支援を要する児童のための教育支援計画の作成率（小学校）	80.0%	80.2%	90% 【100.0%】	「教育支援計画」は、障害の状態を克服・改善するための教育・指導を含め必要となる教育的な支援の目標及び基本的内容を明らかにしたものの。
特別な支援を要する生徒のための教育支援計画の作成率（中学校）	57.8%	67.6%	90% 【100.0%】	

※1 「インクルーシブ教育システム」：障害者の権利に関する条約第 24 条によれば、「包容する教育制度」と訳され、人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が教育制度一般から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされている。

※2 「通級による指導」：比較的軽度の障害がある児童生徒に対して、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障害の状態に応じた特別の指導（「自立活動」及び「各教科の補充指導」）を特別の指導の場で行う教育形態。

2 家庭・地域に信頼される学校づくり

【取組の方向】

- 学校、家庭、地域の連携による「協育」に取り組みます。
- 教職員の指導力の向上に努めます。
- 保幼小中高の連携を推進します。

(1) 開かれた学校づくりの推進（当初予算：1,139千円）

【施策の内容】

①学校評議員、学校関係者評価委員の活用

②「ひろしま教育の日」関連行事の開催

③PTAへの参画

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進 捗 状 況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
小学校行事への保護者・地域の参加者数	2,079 人 (1,418 人×1.5)	1,711 人 (1,319 人×1.3)	児童数×2.1 人 【児童数×2.1 人】	「学校へ行こう週間（11 月 1 日～7 日）」における学校行事等の参加者数
中学校行事への保護者・地域の参加者数	1,690 人 (686 人×2.5)	1,220 人 (678 人×1.8)	生徒数×2.2 人 【生徒数×2.2 人】	

(2) 教職員の資質能力の向上（当初予算：1,566 千円）

【施策の内容】

①「安芸高田市の*学校文化」の構築

②研修機会の充実

③安芸高田教育推進会の活動支援

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進 捗 状 況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
基礎学力が定着している児童の割合(小学校) 《再掲》	88.5%	83.0%	90% 【90.0%】	広島県「基礎・基本」定着状況調査における通過率 60%以上の児童生徒の割合 (小学校：国語、算数) (中学校：国語、数学、英語)
基礎学力が定着している生徒の割合(中学校) 《再掲》	80.0%	73.2%	85% 【90.0%】	

※「学校文化」：「教職員同士」「教職員と児童生徒」「学校の歴史と文化」「地域の風土と人々」によって育まれる学校独特の雰囲気や校風。

(3) 連携教育の充実

【施策の内容】

①中学校区内教職員研修の充実

②幼稚園、保育所との連携の推進

③高等学校との連携の推進

④児童生徒の学校間・校種間交流の推進

⑤安全・防災教育の充実

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進 捗 状 況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
教科の指導内容や指導方法について連携を近隣の中学校とよく行っている小学校の割合	69.2%	88.5%	100% 【100%】	全国学力・学習状況調査学校質問紙の結果による
教科の指導内容や指導方法について連携を近隣の小学校とよく行っている中学校の割合	66.7%	92.0%	100% 【100%】	

3 安全で豊かな教育環境の整備

【取組の方向】

- 学校施設の計画的な改修と I C T 環境の充実を図ります。
- 就学困難な児童・生徒の解消を図り、就学の機会を保障します。
- 安全・安心で安定的な給食の提供を行います。

(1) 学校施設・設備の整備 (当初予算 : 509,524 千円)

【施策の内容】

- ①学校規模適正化に伴う学校施設・設備の整備
- ②計画的な学校施設・設備の修繕等
- ③学校備品・教材の整備

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進 捗 状 況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
普通学級における電子黒板整備率	0.0%	41.3%	70.3% 【70.0%】	台数／普通学級数
特別支援学級児童・生徒へのタブレット端末配布率	0.0%	34.0%	34.0% 【100.0%】	H31 年度パソコン教室 PC のリース更新の際にタブレット端末に一斉更新の予定

(2) 情報教育推進のための基盤整備 (当初予算 : 27,994 千円)

【施策の内容】

- ① I C T 機器の導入等
- ②教職員ネットワークシステムの適切な管理

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
ICTの活用により授業の理解が深まった児童・生徒の割合	—	電子黒板導入時期が年度末にずれ込んだため、平成 30 年度に再調査予定	80.0% 【80.0%】	平成 28 年度実績 87.5%

(3) 就学援助の適正な執行 (当初予算 : 37,799 千円)

【施策の内容】

- ①就学援助と特別支援学級就学奨励の適切な運用
- ②奨学金の適切な運用
- ③幼稚園就園奨励の適切な運用

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
返還金収納率	86.3%	73.9%	86.5% 【99.0%】	収納額/返還請求額 (過年含む)

(4) 給食センターの円滑な運用 (当初予算 : 194,504 千円)

【施策の内容】

- ①地場産物活用の推進
- ②食育活動の推進
- ③衛生管理の徹底
- ④施設の適切な維持・管理

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
地場産物活用の推進	43.7%	43.6%	49% 【50.0%】	食材に使用した材料の品目 (安芸高田市産 + 広島県産) / 総使用品目
食育活動の充実	1 回/年 (各学校 1 回/年)	100%	各学校 1 回 【各学校 2 回以上/年】	栄養教諭・栄養士による給食指導の実施 (進捗状況算出式 : 指導実施施設 / 19 施設)

4 生涯学習活動の充実

【取組の方向】

- 多様な学習ニーズ、現代的課題や地域課題に即応する学習機会の提供に努めます。
- 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に取り組みます。
- 芸術文化・スポーツ活動を支援し、健康で文化的な生活の実現に努めます。

(1) 人権教育・人権啓発の推進（当初予算：88 千円）

【施策の内容】

- ① 人権教育の推進
- ② *参加体験型学習プログラムの普及

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
参加体験型学習プログラムの開催回数	1 回	0 回	3 回 【12 回】	目標値：各町×2 回

※「参加体験型学習プログラム」：単に「講義を聴く」というものではなく、参加者が自由に意見を言い、人の意見が聴けるようにファシリテーター（学習活動を支援する人）が学習活動を進行し、参加者の「自ら気づき、学ぶことができる力」を高めていく学習方法。

(2) 成人教育の推進（当初予算：1,171 千円）

【施策の内容】

- ① 高齢者大学の充実
- ② 市民セミナーの充実
- ③* ICT 講座の充実
- ④ 市 P T A 連合会の支援

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
高齢者大学講座への参加者数	4,097 人	3,658 人	4,000 人 【4,500 人】	
市民セミナーへの参加者数	294 人	174 人	300 人 【600 人】	
ICT 講座への参加者数	75 人	未実施	30 人 【200 人】	平成 28 年度から高齢者大学、市民セミナー講座として開催

※「ICT」：Information and Communication Technology 情報通信技術

(3) 青少年教育の推進（当初予算：12,315千円）

【施策の内容】

- ①夏休み子ども教室「学びの夏」の充実
- ②郷土（ふるさと）学習の推進
- ③学習活動支援の充実
- ④青少年海外派遣事業の実施
- ⑤成人式の開催
- ⑥市子ども会連合会の支援
- ⑦地域未来塾（公営塾）の実施

【目標指標】

目標指標	現状値 (平成26年度実績)	進捗状況 (平成29年度実績)	平成30年度目標値 【最終目標H31年度】	説明
青少年教育講座 参加率	75.6%	72.3%	85.0% 【85.0%】	参加人数÷募集人数
成人式 新成人 参加満足度	—	47.3%	90.0% 【90.0%】	成人式出席者へのアンケート調査による

(4) 家庭教育支援の充実（当初予算：401千円）

- ①家庭教育支援の推進
- ②参加体験型学習プログラムの普及

【目標指標】

目標指標	現状値 (平成26年度実績)	進捗状況 (平成29年度実績)	平成30年度目標値 【最終目標H31年度】	説明
*「親の力」をまなび あう学習プログラム 講座の開催回数	1回	7回	10回 【12回】	目標値：各町×2回
毎日朝食をとる児 童・生徒の割合	96.9%	95.4%	97.0% 【97.0%】	広島県「基礎・基本」 定着状況調査児童生 徒質問紙の結果による

※「親の力」をまなびあう学習プログラム：県教育委員会が開発した家庭教育に関することを学べる参加・体験型の学習プログラム(平成26年3月時点 全33プログラム)

(5) 文化芸術活動の推進（当初予算：2,657千円）

【施策の内容】

- ①市民の自主的な文化芸術活動の支援
- ②市民の学習活動成果発表機会の充実
- ③文化芸術振興団体の育成支援

【目標指標】

目標指標	現状値 (平成26年度実績)	進捗状況 (平成29年度実績)	平成30年度目標値 【最終目標 H31年度】	説明
各文化祭出演団体数	166 団体	141 団体	170 団体 【170 団体】	各町文化祭及び、市民文化祭の舞台発表出演団体数

(6) 優れた文化芸術の鑑賞機会の充実（当初予算：19,032千円）

【施策の内容】

- ①舞台芸術公演の充実
- ②八千代の丘美術館運営・事業の充実
- ③美術作品の保存と活用

【目標指標】

目標指標	現状値 (平成26年度実績)	進捗状況 (平成29年度実績)	平成30年度目標値 【最終目標 H31年度】	説明
舞台芸術公演鑑賞者数	1,592 人	2,996 人	2,000 人 【2,000 人】	文化ホール公演
美術館各種講座開催回数	35 回	21 回	30 回 【45 回】	館外講座含む
市所有美術作品目録整備	未整備	未整備	整備方法検討 【整備】	

(7) スポーツ活動の推進（当初予算：12,933千円）

【施策の内容】

- ①乳幼児期に体を動かす遊びの習慣づくり
- ②児童・生徒の体力・運動能力向上とスポーツ習慣の定着
- ③成人期のスポーツ活動に参画する機会の拡充
- ④高齢者の健康・体力づくりの推進
- ⑤障害者スポーツへの参画
- ⑥各種スポーツ振興団体の自立支援
- ⑦スポーツ指導者・ボランティアの育成支援

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
週 1 回以上運動・スポーツを行う成人市民の割合	アンケート 未実施	53.0%	65.0% 【65.0%】	高齢者大学・市民セミナー・小中学校保護者等を対象としたアンケート調査による
小学校への指導者派遣数	13 人	44 人	40 人 【30 人】	バドミントン教室、カヌー教室等

5 生涯学習環境の充実

【取組の方向】

- 適正で効率的な施設管理と運営に取り組みます。
- 市民による拠点施設、スポーツ施設の積極的な活用を促します。

(1) 生涯学習拠点施設の充実（当初予算：87,077 千円）

【施策の内容】

- ①市文化センターの充実
- ②八千代の丘美術館の充実
- ③地区集会所の整理

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
市文化センター利用者数	132,615 人	153,639 人	170,000 人 【170,000 人】	
八千代の丘美術館入館者数	10,343 人	8,348 人	12,000 人 【12,000 人】	

(2) 図書館の充実（当初予算：56,120 千円）

【施策の内容】 1

- ①図書館運営の充実
- ②蔵書の整備
- ③市民の学習ニーズへの対応
- ④市民の読書活動の推進

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
貸出利用者数	51,724 人	46,397 人	65,000 人 【65,000 人】	個人利用における利用統計

貸出冊数	216,878 冊	202,583 冊	240,000 冊 【240,000 冊】	
------	-----------	-----------	--------------------------	--

(3) スポーツ活動を支える環境づくり（当初予算：262,948 千円）

【施策の内容】

- ①気軽に利用できるスポーツ施設の整備
- ②安全で快適なスポーツ施設の整備

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
スポーツ施設の利 用者数	368,000 人	325,148 人	430,000 人 【430,000 人】	指定管理施設、直営施設、学校開放施設

II 子育て支援と就学前教育の充実

1 就学前教育の充実

【取組の方向】

- 保幼小の連携による系統的・効果的な指導体制の充実を図ります。
- 保護者の多様な就労ニーズに対応した幼稚園運営に取り組みます。

(1) 学びの基盤づくりの推進（当初予算：4,730 千円）

【施策の内容】

- ①幼児教育の充実
- ②小学校との連携の推進

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
幼稚園行事への保 護者・地域の参加者 数	80 人 (32 人×2.5)	75 人 (18 人×4.2)	園児数×2.0 【園児数×2.0 人】	「学校へ行こう週 間（11 月 1 日～7 日）」における幼稚 園行事等の参加者 数

(2) 多様な保護者ニーズへの対応

- ①新たな制度への対応

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
幼児教育の推進に対する満足度（4点満点）	2.39 (25 年度実績)	3.8	2.9 【2.9】	政策企画課調査による（現状値） 進捗は吉田幼稚園の調査結果

Ⅲ 安芸高田市の宝を磨く

1 歴史・文化の保護・継承と活用

【取組の方向】

- 文化財保護を進めるとともに、教材や観光資源としての活用を図ります。
- 伝統文化の保存・継承に取り組みます。

(1) 文化財の保存管理（当初予算：41,862 千円）

【施策の内容】

- ①文化財保護の推進
- ②指定文化財の保護・管理
- ③埋蔵文化財の保護・管理
- ④歴史・民俗等資料の保存管理
- ⑤甲立古墳の保存管理
- ⑥近代（明治から昭和）の市民生活の記録保存
- ⑦土師資料館所蔵資料管理

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
国・県文化財指定数	国 3・県 37	国 4・県 36	国 4・県 37 【国 4・県 38】	

(2) 伝統文化の継承（当初予算：700 千円）

【施策の内容】

- ①伝統文化保存継承団体への支援

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
伝統芸能保持団体 支援団体数	34 団体	34 団体	34 団体 【34 団体】	現状維持を目標とする

(3) 文化財の活用（当初予算：25,335千円）

【施策の内容】

①歴史民俗博物館の充実

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
歴史民俗博物館入館者数	9,010 人	10,811 人	10,000 人 【10,000 人】	

2 トップスポーツの振興

【取組の方向】

- トップアスリートとの交流機会の充実を図ります。
- 次代のトップアスリートの育成に取り組みます。

(1) トップスポーツの活用（当初予算：5,606千円）

【施策の内容】

- ①トップチームの応援観戦事業の推進
- ②トップアスリートとの交流事業の推進

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
応援観戦事業参加者数	749 人	1,917 人	2,000 人 【1,750 人】	

(2) トップアスリートの育成（当初予算：944千円）

【施策の内容】

- ①児童生徒へのスポーツ情報の提供
- ②スポーツ活動に対する外部指導者派遣
- ③地域スポーツリーダーの育成
- ④国際大会・全国大会等参加者への支援

【目標指標】

目標指標	現 状 値 (平成 26 年度実績)	進捗状況 (平成 29 年度実績)	平成 30 年度目標値 【最終目標 H31 年度】	説 明
全国大会壮行者数	119 人	141 人	100 人 【90 人】	全国大会及び国際大会に出場する市民選手